

とちぎSDGs推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリ	チェック番号	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
								1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	○	○	○	基本	課長クラス以上の管理職に女性を積極的に登用している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7		
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	○	○	○	基本	社内向けハラスメント相談窓口を設置					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
	3	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない		○	○	基本	残業時には申請書の提出を義務付け、極力残業しない環境づくりを構築								8.5 8.8									
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	○	○	○	基本	毎日、定期的に中国工場とのコミュニケーションを図る					4.4			8.7 8.8	10.2 10.3								
	5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	○	○	○	基本	施工時における社員向け勉強会の実施					3			8									
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	○		○	基本	社内向け相談窓口を設置					3												
	7	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	○	○	○	基本	①庭園を迎えた60歳以上の従業員を積極的に採用 ②シルバー人材センターを通して高齢者のパート採用を行う。					5.1 5.5			8.5	10.2 10.3								
	8	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	○	○	○	応用						3			8									
	9	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	○	○	○	応用						4			8 9									
	10	【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	○	○	○	応用									8.5	10.2 10.3								
環境	11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	○		○	基本	廃材については適切に管理し、極力リサイクルできる体制を構築、廃棄物の削減に努めている									11.6	12.3 12.4 12.5			14.1				
	12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○		○	基本	定期的に省エネ診断を行い、その結果を踏まえた省エネ計画の策定を行っている								7.3					13				
	13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	○		○	基本	定期的に算定ツールを利用して温室効果ガス排出量を把握し、削減の計画を策定【予定】					7.2 7.3				12.4 13.3								

SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

樣式3号

カテゴリ	チェック番号	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
環境	14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている				基本	石材加工時に排出される有害化学物質を把握し、削減のための計画を策定している			3.9			6.3					11.6	12.4					
	15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している				基本	生物多様性保全に配慮した製品の研究開発をめざす【予定】						6.6									15		
	16	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている				応用							6.4											
	17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している				応用					3.9		6	7					12	13.3	14	15		
	18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している				応用													12.6					
	19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている				応用								7.2							13			
	20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている				応用													12.2	13	14	15		
	21	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている				応用	廃材を多く排出しない、若しくはリサイクル効率の高い商品を開発する					6.3					11.6	12	12.5	13	14	15		
公正な事業慣行	22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している				基本	汚職・贈収賄を未然に防止する体制整備 など															16	16.5	
	23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している				基本	不正競争行為を含む行動規範の明文化 など																16	
	24	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている				基本	意匠、商標等知的財産権の取得・管理									8.2	8.3	9						
	25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している				基本	「個人情報保護法」に基づき、個人情報文書・データの管理を徹底																16	
	26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している				応用																		16
	27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している				応用										5		8	10	12	13	14	15	16
製品・サービス	28	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				基本	①施工の品質基準を明文化②施工時における社員向け勉強会の実施			3.9										12.4				
	29	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している				基本	①お客様相談窓口を設置し、顧客クレーム等に対応②顧客アンケートを社内文書にて共有										9							

埼玉SDGs推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

樣式3号

とちぎSDGs推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリ 番号	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																
		環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		環境	社会	経済																			

上記以外で設定した取組項目

	独自に設定したSDGsに資する取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1																		
2																		
3																		
4																		

【記載留意事項】

- SDGsのゴール・ターゲットのマッピングについては、各項目について、ゴールやターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する場合は赤字で番号を記載しています。（SDGsのゴール・ターゲットのマッピングの整数はSDGsのゴール（例：7）を表し、小数点を含む数字はターゲット（例：7.3）を表しています。）
 - 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
 - 「非該当」のものについては、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）該当しない場合にその理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
 - 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。（※えるぼし認定、森林認証制度など）